

## 平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

本校定時制の課程は昭和 23 年の設置以来、「明るく生き生きとした学校生活を通して、真理と平和を愛し、勤労と責任を重んじる、心身共に健全な社会の有為な形成者の育成」を不易の教育目標としている。

この教育目標を達成するため、次のような特色を有する学校づくりに取り組む。  
「ゆっくりとしっかりと学べる」学校づくりや、「安全で安心な」学校づくりの推進を図り、入学から卒業まで生徒の成長を保障できる教育を追求する。また、様々な人たちが学べるセーフティーネットとして「入ってよかった」学校づくりをめざす。

## 2 中期的目標

## 1 ゆっくりとしっかりと学べる学校づくりへの取組み

## (1) 見える学力（教科科目の領域）の向上への取組み

- ア 新しい教育課程を実施し、確かな学力を身に付けさせる。
- イ より分かりやすい授業への改善や研修を通じて授業力をさらに向上させる。
- ウ ICTを活用した授業を充実させ、授業の質的転換を図る（校務のICT化を含む）
- エ 各種資格試験の受検を奨励し、資格取得をめざす。
- オ 効果のある少人数展開・TTによるきめ細かな授業を継続発展させる。
- カ 生徒の授業理解度と授業評価をさらに向上させるとともに、授業公開により保護者の評価も取り入れる（理解度3年間で30%up）。

## (2) 見えない学力（教科科目以外の領域）の向上への取組み

- ア 生徒の基本的な生活習慣の確立を指導し、規範意識や学習習慣の形成を促す。
- イ 中退、留年、長欠の防止を図る。特に低学年次での対応に留意する。また生徒が学校とのつながり（絆）を深める指導に心がける。
- ウ 図書館の活用を奨励し、読書活動の推進を図る。読書好きの生徒を育成し、コンクール等への参加を奨励する。
- エ 自尊感情（自己肯定感・自己有用感）を育成するとともに、良好な人間関係づくりを指導する。

## 2 安全で安心な学校づくりへの取組み

生徒に居場所が提供できるよう安全で安心な学校への取組み

- ア 健康安全教育や交通安全教育を推進し、生徒の健康増進と安全確保を推進する。特に災害対策に留意した取組みを工夫していく。
- イ 問題事象等には、全教職員が一致した協力体制を構築し、迅速で適切な対応を図る。
- ウ 人権教育を推進し、様々な人権課題の解決に取り組む。
- エ 教育相談と配慮を要する生徒支援の充実に努める。
- オ 教育環境及び大規模から小規模に至る施設設備の保全と充実を図る。
- カ 家庭、地域との連携を推進し、開かれた学校づくりに努める。

## 3 入ってよかった学校づくりへの取組み

楽しく充実した高校生活を送り、入ってよかったと思える学校への取組み

- ア 全学年でキャリア教育や進路指導を充実させ、進学・就職を希望する生徒の進路決定率を100%になるように努める。
- イ 志学の実施と成果の検証を行い、3年間を見通した計画を確立する。地域清掃などの社会貢献的な体験も継続する。
- ウ 特別活動や行事の充実を図ることで生徒の参加意欲を高め、学校への帰属意識や仲間・友達づくりの場を広げる。
- エ 部活動を活性化（加入率の向上—3年後30%～40%）。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 10 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>☆学校教育自己診断の結果と分析</p> <p>今年度は、生徒用・保護者用・教職員用の3つのアンケートを行った。そのうち、生徒向けアンケートは、5つの視点に分けて実施した。</p> <p>①学校の魅力・学校へ行くのが楽しい(78.4%) (昨年65.7%) (一昨年71.3%) 相談できる先生がいる(76.8%) (昨年66.7%) (一昨年68.8%)</p> <p>②授業理解・授業はわかりやすい(85.5%) (昨年71.0%) (一昨年56.1%)</p> <p>③安心して学ぶ環境・先生の指導に納得できる(81.1%) (昨年72.4%) 命の大切さや社会ルールを学ぶ(72.4%) (昨年54.7%) 人権HRや講演で意識が高まる(67.0%) (昨年52.6%)</p> <p>④キャリア教育と特別活動・学校行事が工夫(78.6%) (昨年64.0%) 将来の進路や生き方を学ぶ機会(71.6%) (昨年69.9%)</p> <p>⑤生徒のルール順守・遅刻欠席をしない(71.4%) (昨年68.8%) 学校のルールを守る(85.0%) (昨年77.7%)</p> <p>昨年より質問項目を変更したが、生徒からの回答は非常に好意的であった。10項目のうち昨年より10%以上上昇した項目が6項目あり、全ての項目について上昇した。「③安心して学ぶ環境」については、昨年のアンケート結果を受けて問題に取り組み、全ての質問について大幅に改善し、生徒からも評価された。保護者アンケートは大きな改善が見られず、悪化した項目もあった。回収率は1割を切り、回答された保護者の半数以上は学校に来られていなかった。生徒との評価の差が大きいことから、保護者への情報提供に弱みが見られ、HPの改善や学校メールの検討など、情報提供に向け改善を行いたい。今後も、教職員の資質を高め、布施高校定時制の魅力を高めていく取組みを続けたい。</p>	<p><b>第1回</b> (6/19)</p> <p>授業見学を行った上で、学校経営計画の内容と学校教育計画を説明した。</p> <p>○授業見学から——概ね、授業への取組みに対し、肯定的な意見をいただいた。ただ、授業規律の改善や授業の進め方について、意見が出された。</p> <p>○学校経営計画について——学校の現状を、資料を用いて説明し、計画の了承を得た。その他、授業見学のようなすなどを参考に、英語学習や資格取得などについて、意見交換を行った。</p> <p><b>第2回</b> (10/24)</p> <p>授業アンケート（6月実施）の結果について説明を行った。引き続き、各分掌より現在の取組み状況を説明し、意見を求めた。進路指導部が中心となり行う企業訪問の取組み、生徒指導部が取組む喫煙指導、生徒にとっての保健室が果たしている役割などを説明し、意見交換を行った。『生徒理解を深める』ため、家庭訪問の重要性について意見が出た。</p> <p>○授業アンケートから——生徒の評価は、昨年よりさらに良好で、特に数学・理科・体育の評価が高かった。これから導入される4つの観点による成績評価法について、各委員の意見をいただいた。</p> <p><b>第3回</b> (1/21)</p> <p>学校教育自己診断（10月実施）、授業アンケート（11月実施）の結果を説明した。</p> <p>○学校教育自己診断について——生徒・保護者から得られた結果に、大きな差が見られた。今後は、保護者への情報の伝え方に改善を行う。</p> <p>○授業アンケートについては、1回目と大きな差が見られず、概ね良好な状況が続いている。さらなる授業改善をめざし、なお一層取組を行う。</p> <p>今年度の取組については了承を得たが、基礎学力を身に付けさせ、就業意欲を高めて入学した生徒が正規就職できるよう、1年生からの取組が重要であるという意見を多数いただいた。次年度の進路指導について、この取組みを行う。</p>

## 府立布施高等学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 ゆつくりとしつかりと学べる学校づくり	<p>(1) 見える学力(教科科目の領域)の向上への取組み ア 確かな学力の定着 イ 授業改善や研修を通じた授業力の向上 ウ ICTを活用した授業の充実と校務の効率化 エ 各種資格取得の奨励 オ 少人数展開・TTによるきめ細かな授業の継続 カ 生徒の授業評価・理解度の向上</p> <p>(2) 見えない学力(教科科目以外の領域)の向上への取組み ア 基本的な生活習慣の確立 イ 中退、留年、長欠の防止(低学年次での対応に留意) ウ 読書活動の推進 エ 自尊感情(自己肯定感・自己有用感)の育成と人間関係づくり</p>	<p>(1) 見える学力(教科科目の領域)の向上への取組み ア 生徒の学力に応じた学習内容を設定し、ICTなどを活用し、計画的に確かな学力を身に付けさせる。 イ 経験の少ない教員を中心に、個々の授業改善と校内外の研修等によりさらに授業力の向上を図る。特に校内研修の充実を図る。 ウ ICTを活用した授業増と校務のICT化をさらに推進する。教室にプロジェクターの設置を図り、ICTを活用した授業の増加に取り組む。 エ 英検等、各種資格取得を奨励し、受験者増・合格者増をめざす。 オ 少人数展開・TTのきめ細かな授業を継続する。上級学年でも実施を検討する。 カ 教員の授業力を計る授業アンケートと学校教育自己診断を実施し、授業改善につなげる。</p> <p>(2) 見えない学力(教科科目以外の領域)の向上への取組み ア 基本的な生活習慣の確立 欠席・遅刻・早退・欠課(中抜け)の防止、規範意識の醸成・授業規律の確立(携帯使用、飲食、私語)学習習慣(出る、聴く、尋ねる)の形成を図る。 イ 中退、再履修(留年)、長欠の防止を図る。 ウ 図書館の利用を奨励し、読書活動の推進を図る。長期休業中の活用や文章を書く取り組みを行い、読書感想文の応募をめざす。 エ あらゆる場面で自信や達成感を持てる指導に心がけ、同時にコミュニケーション力の育成と他者との豊かな人間関係づくりを図る。特にHRなど特別活動を通じて育成を図る。</p>	<p>(1) ア 新教育課程の実施状況 エ 資格取得試験受検状況及び合格者数の実績増加 英検 H25 1人→H26 増加へ 漢検 H25 1人→H26 増加へ カ 授業アンケートの活用 (例) 授業理解度 H25 71.0%→H26 70%超</p> <p>カ 教育センターの学校生活と人権に関するアンケート結果の活用 (例) 学校での勉強は役立つ H25 72.4%→H26 75%超</p> <p>(2) イ 中退、再履修(留年)、長欠を各々20%低減する(目標) 中退(人) H25 32 → H26 26 再履修(留年)(人) H25 62 → H26 50 長欠(30日以上欠席)(人) H25 165 → H26 132</p> <p>※学校協議会の意見提言 中退・留年・長欠、授業規律等の指導や取組みについて肯定的評価を得る。</p>	<p>(1) ア 1年英数国で、基礎学力の定着に特化した授業を設定するなど、基礎学力の定着に努めるとともに、ICTを活用するなどしてわかりやすい授業を行い、個々の学力の伸長をめざした。(◎)</p> <p>イ パッケージ研修を通じ全校で授業改善に取り組むとともに、初任者2名が公開授業を行い、学校全体の授業力向上に取り組んだ。アンケート結果：授業理解度 71.0→85.5%、と大幅に数字が上昇した。(◎)</p> <p>ウ 出欠、成績処理等、すべてに校務処理システムを活用した体制を構築。各教室にプロジェクター設置を見越し、ICT機器を使った授業ノウハウの交流を行った。(◎)</p> <p>エ 英検・漢検取得者1名だが、ITサポート1名、情報処理検定協会(表計算)7名であった。(○)</p> <p>オ 1年英数国をTT・少人数展開し、きめ細かな指導と授業の工夫を行った。数学は後期から習熟度別授業展開を実施、基礎学力の育成など底上げを図った。(◎)</p> <p>カ 授業アンケートと、学校教育自己診断に係るアンケートを学校独自で集計と分析を行った。(学校に行くのが楽しい：65.7→78.4%、勉強が役立つ 72.4%→64.7%)引き続き、さらなる改善に努めたい。(○)</p> <p>(2) ア 授業規律、欠席遅刻などについて授業時や集会で粘り強く指導を図っているが、徹底できていないところが課題である。(○)</p> <p>イ 滞留生を除き、中退は31名で、昨年比1名減。再履修は30名で、昨年比32名減。長欠は121名で、昨年比44名減。(○)</p> <p>ウ 毎日、放課後まで図書館を開館し、読書活動の推進や生徒相談に活用しており、居場所としても活用。(○)</p> <p>エ 今年度も外部講師によるキャリア教育や人間関係づくり、アンガーマネジメントのHRを実施した。(◎)</p> <p>※学校協議会で、計画的な生徒支援や指導の取組みを評価していただいております、引き続き重点的に取り組む。(◎)</p>
2 安全で安心な学校づくり	<p>(1) 生徒に居場所が提供できるよう安全で安心な学校への取組み</p> <p>ア 健康安全教育の推進(生徒の健康増進と安全確保) イ 問題事象等への迅速で適切な対応 ウ 人権教育の推進(様々な人権課題への取組み) エ 教育相談と配慮を要する生徒支援の充実 オ 教育環境及び施設設備の保全と充実 カ 家庭、地域との連携推進と開かれた学校づくり</p>	<p>ア 健康安全教育の推進 薬物、性感染症、喫煙、防犯防災、虐待、食育、交通安全等、重要課題について防災訓練や健康HR等を通じて啓発を図る。特に喫煙については、禁煙の指導を強める。 イ 問題事象の防止に努め、発生時には適切な組織的対応を図る。 ウ 人権HRの充実を図り、生徒の人権意識を高める。教職員には校内研修等の実施により、人権問題への理解を深める。 エ 教育相談の充実と支援コーディネーターを中心とした支援教育のための校内委員会活動を展開するとともに、高校生活支援カードや、個別の教育支援計画の作成を行う。 オ 教育環境・施設設備の日常的点検を励行し、必要な保全と充実を図る。 カ 家庭、地域との連携として、保護者会の活動を活性化し、中高連絡委員会を核にして中学校訪問や情報交換会を充実させ、情報共有に努める。また、広報紙の発行・配布、学校説明会の実施を継続する。 キ 年3回実施する学校協議会の充実を図る。 ク HPを充実させ、学校情報や行事の情報を発信するなど、充実した内容にする。</p>	<p>イ 学校教育自己診断 (例) 先生に気軽に相談できる H25 66.7%→H26 目標 70%超</p> <p>イ いじめアンケート結果の活用 イ 懲戒件数低減(目標) H25 4件→H26 今年度並み</p> <p>エ 教育センターの学校生活と人権に関するアンケート結果の活用 (例) 自分は大切にされている H25 79.1%→H26 80%超</p> <p>ク HPの更新、最新情報の発信</p> <p>※学校協議会の意見提言 禁煙等の指導や取組みについて肯定的評価を得る。</p>	<p>ア 「薬物・喫煙防止」「性感染症・命について」「交通安全」の講習をHRで実施。防災訓練は震災時の停電を想定した訓練、非常用備蓄食料の理解を進めるための試食会も継続実施した。昨年からの実施した学校保健委員会について、内容を充実させて実施した。(◎)</p> <p>イ 危機対応については、学年を中心に全校でバックアップする校内体制を整え、迅速に実践することができた。懲戒件数は喫煙の指導を強化したこともあり、9件と増加した。引き続き粘り強い指導を継続したい。(○)</p> <p>相談体制の充実により、アンケート結果：相談できる 66.7%→76.8%、自尊感情(自分は大切にされている) 79.1%→81.3%と大きく数字が向上した。(◎)</p> <p>ウ ネットなどの情報モラル、デートDVなど、生徒人権HRを実施して人権意識を高めた。生徒アンケート(人権意識が高まった。52.6→67.0%)の結果も向上。(◎)</p> <p>エ 一人ひとりを大切に作る体制作りと研修を実施。今年度から実施された高校生活支援カードに係る職員研修も実施。より有効に使用できるよう、改訂を計画。(◎)</p> <p>オ 一部施設の老朽化がみられるが、施設設備の点検や改善も確実に実施。念願の生徒トイレ改修が実現。(◎)</p> <p>カ 中学校訪問は昨年なみの52校を訪問し情報共有。広報紙を12回発行(昨年比5回増)し、中学校等に配布。(◎)</p> <p>キ 学校協議会を3回実施し、意見提言を伺った。(◎)</p> <p>ク HPでの行事等の情報を迅速に提供。月3回程度の更新を行っている。(◎)</p> <p>※「安心して学ぶ環境」の改善について取り組み、今年度は結果が大幅に改善したことを学校協議会で、評価していただいております、引き続き重点的に取り組む。</p>
3 入ってよかった学校づくり	<p>(1) 楽しく充実した高校生活を送り、入ってよかったと思える学校への取組み</p> <p>ア キャリア教育・進路指導の充実 イ 志学の実施 ウ 特別活動と行事の充実 エ 部活動の活性化(加入率の向上)</p>	<p>ア キャリア教育・進路指導の充実 進学・就職希望者に対する進路指導の充実を図り、希望者の卒業時の進路決定率を高める。 ハローワークや外部機関と連携を深め、計画的な進路指導を行う。 イ 志学について、内容の充実を図る。地域清掃は核になる行事として定着を図る。 ウ 特別活動や諸行事について、前年度の総括等を基により一層充実を図り、学校生活の満足度を高める。 エ 部活動について、前年度に引き続きより一層活性化を図り、好成績の顕彰など自尊感情高揚の機会としていく。(加入率目標 30%台)</p> <p>オ 授業アンケート、教育センターの学校生活と人権に関するアンケート、生活実態調査を実施し、結果を学校運営に反映させる。</p>	<p>ア 相談件数や各学年向けガイダンス実施件数 就職希望者・進学希望者の進路決定率 目標：65%→80%以上</p> <p>エ 部活動の活動状況検証 加入率 30%台の回復(目標)</p> <p>オ 生活実態調査の活用 (例) 学校へ行くのが楽しい H25 65.7%→ H26 70%</p> <p>オ 教育センターの学校生活と人権に関するアンケート結果の活用(例) 高校生活充実度 H25 71.9%→ H26 75%超</p> <p>※学校協議会の意見提言 教育活動全般について肯定的評価を得る。</p>	<p>ア ハローワークからの説明会、講演会を定期的実施。地元企業経営者に講話をお願いするなど、早期からのキャリア教育に取り組んだ。就職者も24名内定(昨年8名)するなど、就職・進学希望者の決定率も、65%→90%に向上。(◎)</p> <p>イ 志学として1年全員が地域清掃に取組んだ。生徒会も自主的に清掃活動に取り組んでいる。(◎)</p> <p>ウ 調査後のHRや総合の時間を活用し、大幅に特別活動や行事を増加させた。(行事が楽しい：64.0→78.6%)(◎)</p> <p>エ 部活動の参加者数は横ばいだが、バスケボール、バドミントン、卓球部など活発な活動をするクラブが増加した。(◎)</p> <p>生徒会活動が活発で、生徒意見を生かした文化祭企画や卒業生行事を行うなど、主体的な活動がみられる。(◎)</p> <p>オ いずれの生徒アンケート結果も概ね数値は向上しているが、保護者アンケートの結果の数値は横ばいである。半数以上の保護者が普段来校されない実態があるので、情報提供や学校に来て協力を求める工夫を検討する必要がある。(○)(学校に行くのが楽しい：65.7%→78.4%、高校生活充実度：71.9%→70.6%)</p> <p>※学校協議会で、概ね指導の取組みを評価していただいているが、より学校の魅力を高める努力を続けたい。</p>